



メロン、丸い形は地球に見える?メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします!

□ 巻頭 国際“交流”から多文化“共生”へ □

カレンダー 2020年4月の comm cafe ランチカレンダー …… 5

～小学校多文化理解教育を考える～ …… 1

お知らせ 協会・他団体からのお知らせ …… 6

寄稿 阪大人間科学部の授業とコラボ …… 4

巻末 編集後記 …… 8



国際“交流”から、多文化“共生”へ

～小学校の多文化理解教育を考える～



箕面市では、小学校多文化理解プログラム(以下、プログラム)に2015年から取り組んでいる。目的は、外国人市民との出会いを通して、子どもたちの国際感覚、人権感覚を養い、言語・文化の異なる人々とも心を開いてコミュニケーションできる能力を育成することだ。協会は、この事業を箕面市教育委員会から受託しており、外国人講師派遣のノウハウを活かして運営を行なっている。どのような授業が行われているのか、箕面市立南小学校、東小学校で見学させていただいた。また、多文化理解に40年来取り組んでいる豊中市の先例を知るため、市立桜井谷東小学校の授業も見学させていただいた。多文化理解に取り組む現場とその視点について考えたい。(取材者：井嶋、大橋、荻野、島田、平沢)

【箕面市のプログラム】

2019年度に講師として活動した外国人市民は11か国19名。留学生など滞在期間数年の人もいれば、定住の人もいる。講師は、自分のやってみたいプレゼンテーションを考え、他の講師や協会職員の前で模擬授業を行い、磨きをかける。

学校側は、1年度中に2学年で各1回の授業を設ける。学年は学校側の都合で決定する。学校によっては、外国ルーツの児童をエンパワメントする狙いから、その児童の学年に設定されることもある。同じルーツを持つ講師、あるいは似たバックグラウンドを持つ講師が来ることで、児童の自己肯定感につながる事が期待される。

南小では、以前より「すてきな出会いの日」という人権教育の枠組みがあり、さまざまな立場のゲストティーチャーを招いて子どもたちとの出会いの場を作っている。プログラムも、そのひとつとして行われた。今回は4年生の3つのクラスで、イさんが韓国について、ヒバさん

アナベルさんが授業で必ず貼りだす
4つのメッセージ



4つの言葉
 ① 他人を判断しない
 ② 何事も決めない
 ③ 人はそれぞれ違う
 ④ 色んな国へ旅に出よう

がシリアについて、アナベルさんがスペインについて、それぞれ45分の内容を違うクラスで2回ずつ行った。南小ではこれまでの蓄積で、講師の話す言語で書いた挨拶(「こんにちは」と「ありがとう」)を集めてあるのだが、シリアからの講師はこの日が初めてだったので、ヒバさんの書いたアラビア語の挨拶が新たに加わった。

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会(MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel: 072-727-6912 Fax: 072-727-6920 E-mail: info@mafga.or.jp Web サイト: www.mafga.or.jp

賛助会員数: 318名 法人会員数 39団体(2020年3月20日現在)

教室の黒板に国旗が貼り出されると、子どもたちが講師の周りに集まって、「知ってるで、〇〇の国旗やろ? 〇〇人なん?」と元気に話しかけていた。授業は、先生が講師の紹介をし、全員で「こんにちは」と挨拶して始まった。カタカナで読み方が書いてあっても、講師の発音とは異なる。上手に言えない子、何度も繰り返して言う子と反応がとても素直だ。

ヒバさんは、生まれはナイジェリアだが、両親はシリア人で、8歳の時シリアに渡った。ナイジェリアでは英語が公用語であったため、英語はそこで身につけたが、母語はアラビア語だ。アナベルさんの母語はスペイン語。コロンビアと日本のミックスルーツを持ち、生まれはコロンビア、幼少期に日本で数年過ごした後、小学校低学年以降はスペインに移住した。子どもたちと同じ年の頃をスペインで過ごしており、スペインの小学校がどんな様子なのかを中心にお話された。イさんは、あえて4つの言語を使って挨拶をして、「わたしはなに人でしょう?」と投げかけた。韓国の国旗をすでに知っている子どもたちは、「韓国人ちゃうの?」と言ったり、英語を聴きとれて「アメリカ人かな?」、聞きなれない言葉には「中国っぽいな?」と言ったり、「?」でいっぱい。イさんはさらに「では、みんなと同じことは何でしょう?」と問いかけた。「地球人」や「箕面市民」など、共通点を挙げたあと、自分は韓国から来たことを告げた。子どもたちの「?」の答えは、単純に「韓国人」ではなく、「見た目で判断できない」ということ。そして、箕面市には多くの外国人市民が住んでいるが、意外と気が付いておらず、隣にいる人が外国から来た人かもしれないと思いたってほしいと伝えた。

東小では、1人が同じクラスで2時限の授業を行った。この日は、アナベルさんとホンさんが講師だった。プレゼンテーションでは、研修で作上げた内容に加えて、学校からリクエストのあった、同世代の子どもたちの暮らしや学校の様子についても紹介された。「文化が異なる」

というのはとても抽象的な概念で、小学生に短い時間にダイレクトに伝えるのは難しい。同じこともある、違うこともある、のように、わかりやすくする工夫が見られた。

【見えてきた課題】

実際の授業を見学させていただき、子どもたちがじつと講師のお話を聴き、時には元気に質問している姿が印象的だった。グローバル社会といわれて久しい中であっても、まだまだ多様性を意識していない発言ももちろんあったが、それも異文化に出会う入り口になるだろう。残念なのは、プログラムが入り口だけで終わってしまうことだ。一度きりの出会いでは、「異」文化を「多」文化として自分の中に溶けこませることは難しい。国旗には、明快なわかりやすさがあり、入り口の扉を開く効果がある。しかし、ある人の属性が国旗では表せない場合も多々ある。講師たちが生い立ちを話してくれて、繰り返し「人を見た目で判断しないで」とメッセージを送ってくれた。こういった経験の積み重ねによって、多文化を肌感覚としてとらえられるようになり理解、多文化共生につながっていくだろう。

協会の担当者は、講師をステレオタイプな外国文化の紹介者や協会の代弁者にしてしまわないよう、講師が個人として子どもたちに話したいことや伝えたいことを



韓国の伝統的遊びチエギを実演し、担任の先生や児童と遊ぶ様子

バレーボールチームの練習を
体育館で見学できます!

SUNTORY VOLLEYBALL TEAM
SUNBIRDS
サントリーサンバース

サンバース

練習スケジュールは
オフィシャルページで発信中!!

サントリー箕面総合トレーニングセンター
TEL: 072-729-7324

胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科

おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	/	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	/	□	/
pm5:00~7:30	○	○	○	/	○	/

※診療開始 30 分前から受付します。
■胃カメラは予約制です。
■休診日：土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日
■http://homepage2.nifty.com/ozawa-clinic/
【住所】〒562-0023
箕面市粟生間谷西3-7-9 シャトー野間 1F
阪急バス停留所「宮の前」 スーパーマルヤス向い
☑無料駐車場 有

TEL: 072-730-0721

**家事支援
サポーター募集!**

高齢者のお家で掃除、洗濯、調理
などを行うお仕事

- ◆ 訪問地域：主に 箕面市と 豊中市
- ◆ 家事スキルがあれば OK
- ◆ 子育て中のかたや退職後のかたも活躍中!
- ◆ 時給 964 円～

【問合せ】NPO 法人 なにわ 和楽日の会
warabi@quartz.ocn.ne.jp
☎072-734-6610

大事にしてもらうよう心掛けているという。子どもたちの生活に紐づいた内容を提供するなどして、「違う」国でも「同じ」部分があることや、反対にひとつの国の人がたった一つの文化を全員で共有しているのではなく、「同じ」国でも「違う」ことがあるのだと気づいてほしいと考えている。

【豊中型国際教育】

豊中市では、1980年に在日外国人教育基本方針が示され、日本に住む外国人の学習権を保障する取り組みに端を発し、以来40年間、進化しながら「豊中型国際教育」に取り組んでいる。「つどう」「つながる」「つちかう」「未来への行動力」をテーマに、持続可能な社会の構築を担う次世代の育成である「持続発展教育(ESD)」の一環として国際教育を進めている。「国際理解」を最終目的とするのではなく、国際化する社会の中で生きるために必要な力の育成と位置付けていることは先進的だ。身近な自然や震災の影響などを学習する環境教育、平和教育、人権教育など、広い視点で持続可能な社会に必要な知識を身につけることをめざしている。小学校で行われる「外国語体験活動」は、同じクラスで年に3~4回、同じ外国人講師が授業を行う((公財)とよなか国際交流協会が委託)。学年ごとに言語選択が可能で、対象は小学校3年生から6年生までの4年間。1人の子どもが小学校の間に12~16回の授業を受けることになり、4年間で様々なルーツを持つ講師に出会うことができる。

今回私たちが見学させていただいたのは、桜井谷東小学校4年生のクラスで、台湾出身の溝越茜さんによる授業だった。

あるクラスは、溝越さんの3回目の授業で、ジェスチャーで伝言ゲームをしていた。ゲームを通して、互いの言葉がわからない時に何かを伝えるにはどうしたらいいのかを考える。外国語の知識も大切だが、それ以上に大

切なのは、伝えようとする気持ちであることを体験していた。

別のクラスの4回目の授業では、子どもたちが日本の年中行事や伝統的な文化について、グループごとに調べ学習したものを発表していた。これは、講師が3回目の授業の終わりに出



台湾の伝統行事の説明をする溝越先生と写真を夢中に見る児童たち

した宿題。他の文化を理解するには、下地に自分の持つ文化の知識が必要だ。その知識を養いつつ、伝え方も工夫したり、他の人のやり方を学んだりしていた。このような学習方法は、「国際教育」の授業の目的や子どもたちに学んでほしいことの設定が明確になり、教師にも子どもたちにも達成感のある授業になっているように見えた。また、連続した授業構成は、講師と子どもたちの間に信頼関係を生じさせ、相手を尊重しながらよく知ろうとする姿勢につながっているようだった。

【これからの多文化理解とは】

豊中市の外国語体験活動から学ぶことは非常に多い。指針とめざす成果が明確で、学校と講師が協力して、時間をかけて授業を作っている。ひとつの出会いの芽から、新しい知識や出会いの枝が伸びていくことで、多文化を自然に受け入れる態度という幹が育つことだろう。箕面市のプログラムはまだまだ発展途上の部分が多い。せめて学年を固定化するなどして、すべての子どもがプログラムを体験できるようにするべきだろう。

日本における「国際交流」や「国際理解」、「国際

長宗我部和子バレエスタジオ

千里ニュータウン開発と同時に50年余の指導歴 日本バレエ協会所属

BALLET

講師：窪 智美、今井恵理菜 (ロシアペルミカレッジにて2年半留学)

●箕面教室

コミュニティセンター 太陽の家 … (月) 16:00 ~ 17:30
コミュニティセンター みどりの家 … (水) 18:00 ~ 21:00
市立多文化交流センター …原則として (水) 15:30 ~ 18:00

●吹田市古江台教室 … (土) 16:00 ~ 19:00
(吹田市古江台4丁目 古江台集会所)

●高槻教室・宝塚教室もあり

連絡先：箕面市粟生外院 4-18-3 TEL：080-6185-7399 (今井)



エスパーロ
能勢
espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間：金~月 11:00 ~ 17:00

<http://espero-osaka.com/>

化」といった言葉は、ながらく、日本を閉じられた単一のものとなえ、その日本に対する外国との関係性を指してきた。しかし、もともと日本社会は単一民族でもなければ単一文化でもない。さらに、国境を越えて人や物や情報が行き交うようになった今、日本とそれ以外、という区別は必要ない。最近では「多文化理解」や「多文化共生」といった言葉が使われることが増え、3F (Food, Fashion, Festival) のような表面的な違いではなく、誰にでも内在する、カラフルでグラデーションにあふれた

個性を認めようとする動きに変わってきた。これは決して新しいことではなく、箕面市においても部落差別や障害者差別、在日外国人差別と闘ってきた歴史がある。プログラムの主催者である箕面市教育委員会と、多文化共生を推進する立場である協会は、この歴史を忘れることなく、誰に対する何のためのプログラムなのかを議論を重ね、広く周知し、より意義深いプログラムを実践してほしい。(島田)

寄稿

阪大人間科学部の授業とコラボ

～学生インターンの受け入れ～



2019年10月から12月にかけて、大阪大学人間科学部の授業「共生学系実験実習Ⅰ」の一環として、当協会が学生6名を受け入れた。テーマは2018年に起きた大阪府北部地震の教訓を活かすべく、災害時の多言語情報発信の現状と課題について調査を行うこと。授業を担当する宮前先生より寄稿いただいた。

「実験実習Ⅰ」では、学生にただ机に向かってパソコンで物事を調べるというやり方ではなく、当事者の方々に直接お話を伺い、みずからも当事者とともに活動に参加しながら問いを深めていく手法を用いて授業を行っている。本授業においても、協会のボランティアスタッフをはじめとする多数の方々へのインタビューを実施した。そしてその内容を協会職員の河合さんや野崎さんとともに議論することで、学生たちは「現場の肌感覚」を養いながら分析をすすめることができた。

印象的なことがある。ある日、大阪大学で留学生対応をしている職員にインタビューをしていた学生からこんなことを聞いた。地震の翌日は、生活の相談よりも「ただ話にきただけ」の留学生のほうが圧倒的に多かったようだ。わたしは勝手に、災害時に自国語の情報が無ければ不安だろうから、それを解決するためにはさまざまな言語の情報を発信すればよいのかと短絡的に考えていた。もちろん多言語発信も必要だが、それだけでなく、知り合いとおしゃべりすることもまた安心感を得るためには必要なのだと実感させられた。

このことに気づけたのも普段からコミュニティづくりに尽力している協会関係の方々との協働あってこそである。深く感謝したい。



多民族フェスティバルの準備を手伝う学生たち

広 告 募 集 中

長期契約(1年)、法人会員は割引もあります。
詳しくは、協会までお問い合わせください。

☎ 072-727-6912 メール info@mafga.or.jp



契約期間	6ヶ月		12ヶ月	
	(通常)	(法人会員割引)	(通常)	(法人会員割引)
1単位	5,500円	4,400円	10,000円	8,000円
2単位	7,500円	6,000円	14,000円	11,200円



4月
April



comm cafe ランチカレンダー

コムカフェ

火～土 ★朝カフェ … 9:30 ～ 11:30
 ★ランチタイム … 11:30 ～ 14:00
 * 売り切れ次第終了します *
 ★午後カフェ … 14:00 ～ 17:00

日曜日 ★世界の朝ごはん (ドリンク付 660円)
 …10:00 ～ 13:00 * ランチはありません

日・祝日 ★ランチセット (ドリンク付 510円)
 …9:30 ～ 15:00 * ランチはありません

ランチは **880円 (税込)** です。
 * ランチタイムのみプラス 100円でコーヒー・紅茶・ジュース・季節のドリンクがつきます。
 ●ご予約 (comm cafe 直通) **072-734-6255**

☒ … スナック or スウィーツの日 ① … カフェで開催するイベント
 各種イベントの詳細は「めろん」P6・7をご覧ください。

comm cafe からのお知らせ ★4月の月間メニュー：インドのタンドリーチキンロール

- ◆日曜日は「世界の朝ごはん」シリーズを始めます。世界の朝ごはん+ドリンクがセットで 660円! お楽しみに～
- ◆チャレンジカフェのお知らせ! 4/2 (水) トルコ、4/3 (木) フィリピン、4/30 (木) メキシコ

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どうようび	にちようび
		1 スランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	2 チャレンジカフェ カーン&ノヤンさん 《トルコ》	3 チャレンジカフェ クリスさん 《フィリピン》	4 ジェニーさん 《アルメニア》	5 スランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00～13:00
6 休館日	7 スランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	8 スランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	9 テイさん 《ベトナム》	10 洪さん 《コリア》	11 カーン&ノヤンさん 《トルコ》	12 スランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《ベトナム》 10:00～13:00 ① Diversity Cafe 14:00～15:00
13 休館日	14 いずみさん 《ベトナム》	15 スランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック ① シカモサロン 10:30～11:15	16 ジェニーさん 《アルメニア》	17 スランチセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	18 テイさん 《ベトナム》	19 スランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《タイ》 10:00～13:00
20 休館日	21 いずみさん 《ベトナム》	22 梁さん 《中国》	23 ホーさん 《香港》	24 トウエツトさん 《ベトナム》	25 協会主催事業のため、 ランチはお休みです。 ★カフェをご利用できる 時間 15:00～17:00	26 スランチセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《ロシア》 10:00～13:00
27 休館日	28 クラウディアさん 《メキシコ》	29 スランチセット (9:30～15:00) [祝日] ☒ MAFGA スナック	30 チャレンジカフェ アルベルトさん 《メキシコ》			

- ベジタリアン、ハラール、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。 <https://www.facebook.com/mafgachallengecafe>



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

※コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは延期、または中止になる可能性があります。
お問い合わせは(公財)箕面市国際交流協会まで。 ※開催場所：箕面市立多文化交流センター

電話：072-727-6912 FAX：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp

定例 イベント	4月11日 (土) 13:00～14:00	ハット市とのスカイプ交流 テーマ：余暇活動・余暇の過ごし方	場 所 ボランティア活動室 参加費 無料(予約不要)
定例 イベント	4月12日 (日) 14:00～15:00	Diversity Cafe ～多様性について考えよう～ ニュージーランドのマオリとして 講師：マーシュ バレット	場 所 comm cafe 参加費 一般 550 円(ワンドリンク付き) 高校生以下はワンドリンクオーダー制
定例 イベント	4月15日 (水) 10:45～11:15	シカモサロン ～大人がたのしむ 絵本の世界～ 読み手：笹川コブさん (タイ語)	場 所 comm cafe 定 員 10 名程度(申込み不要) 参加費 500 円(ドリンク・スナック付)
定例 イベント	4月18日 (土) 18:00～20:00	みのお cinema 上映会 毎月 1 本、視点を豊かにする映画を上映 上映作品：バベルの学校 (監督ジュリー・ベルトウチェリ / 2013 年 / 89 分 / フランス)	場 所 comm cafe 定 員 20 名 定 員 会員 500 円、一般 800 円 申込み 電話、メール、窓口にて
定例 イベント	4月19日 (日) 14:00～16:00	Sunday Book Review 英語の原書を一緒に読みましょう！ 読む本：The Remains of the Day (著者 Kazuo Ishiguro)	場 所 ボランティア活動室 参加費 ドリンク・スナック代(200 円～) 申込み 初めて参加の場合、要事前申込み
イベント	4月26日 (日) 12:00～14:00	アートの小箱を開けてみる vol.6 アートに興味のある人、対話型ワークショップに興味のある人対象。 アート作品を切り口に自らの内面の多様性に気づく WS イベント。 講師：野崎ターラー (協会職員)	場 所 comm cafe 定 員 10 名程度 参加費 ワンドリンクオーダー制 申込み 不要

2020 年度の賛助会員募集中！



(公財)箕面市国際交流協会は、2016 年度から「税額控除対象法人」となりました。これにより、皆さまからのご寄付は税法上の特別措置の対象となります。(ただし、3,000 円以上の年会費をお支払いいただいた場合に限りです)
まだ会員でない方は、ぜひこの機会に新規ご入会をご検討ください(特典等は右の表をご覧ください)。
※2020 年度の会員期間
入会日～2021 年 3 月 31 日まで

会員の種類 / 年会費	備考 (特典など)
個人会員 / 一口 2,000 円～	ニュースレターの郵送、ボランティア保険の加入、セミナーの割引
個人寄付会員 / 一口 3,000 円～	ニュースレターの郵送、ボランティア保険の加入、セミナーの割引、語学講座の割引対象、comm cafe で使用できるクーポン券(2020 年度に限り有効)を呈呈
法人会員 / 一口 10,000 円～	ニュースレターの郵送、協会発行ニュースレターなどの広告料の割引、セミナー及び語学講座受講料の割引(3 名まで)、会費の損金算入(税制優遇措置)

唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で 38 年の歴史～

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT 会員

*バレエコース：教師歴 55 年の唐木幸子と、「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校教師養成学科」卒業、バレエ教授法取得証明書 (Diploma) 取得、教師歴 25 年の唐木智子が丁寧に指導致します。「バレエは芸術」として楽しんで長く続けられるように、また中高生にはクラブ活動や受験で断念する事のないよう配慮しています。幅広い年齢層 (3 才～70 才位) で目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース：現在、大学教育にもなっている「姿勢科学」理論に基づいた姿勢調整をいたします。(姿勢科学療法)

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より 30M)
072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



定例事業のスケジュール

	事業名	2020年度 開始日時	内容など
日本語教室	ささゆり(初級読み書き)	4月7日(火) 10:00~12:00	一時保育あり(1歳~就学・就園前)。定員各10名(申込多数の場合は抽選)。保育を希望する場合は、必ず日本語教室の開始日に来館してください。
	あかね(初級会話)	4月9日(木) 10:00~12:00	
	ひまわり	4月10日(金) 10:00~11:30	
	萱野にほんご	4月10日(金) 19:00~20:30	
	さんさんクラブ	4月15日(水) 10:00~11:30	
	多言語生活相談	4月7日(火) 11:00~14:30	韓国・朝鮮語、中国語、英語 (ベトナム語、ポルトガル語は、第2・4火曜日のみ)
外国にルーツをもつ子どものサポート事業	さぼると	4月11日(土) 10:00~11:30	学習支援(対象:日本の学校に通う渡日の子ども(小学生~高校生))
	子どもと	4月11日(土) 13:00~16:00	居場所づくり(対象:外国にルーツを持つ子なら誰でも(小学生~高校生))

他団体からのお知らせ

※コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは延期、または中止になる可能性があります。
イベントの詳細や開催状況については、それぞれの団体にお問い合わせください。

映画祭 5月2日(土) ↓ 5月8日(金)	イスラーム映画祭 主に中東やアジアなど、「イスラーム」が広まっている国・地域を舞台にした映画をお見せする映画祭です。劇場一般公開作や自主上映会などの情報も発信いたします。	場所 神戸・元町映画館 (神戸市中央区元町通4丁目1-12) 主催 イスラーム映画祭実行委員会 問合せ http://islamicff.com/
野外音楽祭 5月3日(日・祝) ↓ 5月5日(火・祝) 開場・開演 11:00~	今年で最後! 終・春一番 【春一番】とは、70年代に大阪で生まれた野外コンサートです。ゴールデンウィークに、このコンサートの為だけに集まる有志スタッフが、プロデューサー・舞台監督の福岡風太らと共に手づくりで開催する音楽フェスティバルです。 出演アーティスト:【5/3】ナオユキ(スタンダップコメディ)、良元優作、他【5/4】押尾コータロー、木村充揮、他【5/5】ハンバートハンバート、リクオ、他 ■出演アーティスト、チケット販売など詳細はWebサイト: https://shu-haruichiban.jimdofree.com/	場所 服部緑地野外音楽堂 (北大阪急行(御堂筋線直通) 「緑地公園」駅から徒歩5分) チケット 前売料金:各日券 ¥3,500 通し券 ¥9,000 当日料金:各日券 ¥4,100 ※小学生以下は無料・全席自由 問合せ 春一番オフィス 06-6364-1591
イベント 5月6日(水・祝) 10:00~17:00	みの-1グランプリ2020 地元箕面の特産品である「ゆず」を食材テーマとした創作グルメがずらり登場!今年の「みのおナンバーワン(みの-1)ゆずグルメ」を決定します!また、箕面近隣で活動しているダンスチームによるパフォーマンスもあります。	場所 みのおキューズモールふれあいパーク (箕面市立かやの広場) 主催 みのおキューズモール 東急不動産 MCマネジメント株式会社 問合せ ☎06-6443-8555

coupe de Minami スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?




ボディに布を直接
 のせて服をつくって
 みましょう!
 (立体的裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42~45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体的裁断、デザイン等を修得

昭和45~47年 カネボウ Cristian Dior アトリエでデザイナー

昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体的裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ: ☎562-0012 箕面市白島2-2-30 電話/FAX 072(721)4151
 E-mail info@coupe-de-minami.com URL <http://www.coupe-de-minami.com>

めろん編集ボランティアスタッフ 絶賛募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、紙面をいっしょに作るボランティアを常時募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方も、そうでない方も、ぜひご参加ください!!

会議日程

読合せ 第2火曜日 15時～ (次回は4月14日)
編集会議 第4土曜日 10時～ (次回は4月25日)

作業日程

印刷 毎月最終火曜 13時～ (次回は4月28日)
発送 毎月最終水曜 13時30分～ (次回は4月29日)

場所

箕面市立多文化交流センター2階

編集後記

この3月末にMAFGAを退職し、群馬県に引っ越すことになった。また新たな地か...と思いつつ、箕面に来た11年前のことを思い返してみた。

何かおもしろいことがないかなあと、図書館に立ち寄った。ふと目にとまった「めろん」を片手に、当時はまだ豊川支所の2階にあったMAFGAをその足で訪ねた。そしてボランティア活動をスタートし、縁があって職員として働くことになった。

参加した事業で印象に残っているのが、「わたしはここで生きている」という文化庁委託事業。リーマンショック後で、在住外国人を取り巻く状況が大きく変わった時期だった。それまでは当事者が声をあげるような場に参加した経験があまりなかった。箕面に来る前の5年間住んでいたアメリカでは、「よそから来た人」という立場で、声を出さず一歩下って過ごすことが安全だと考えていた。その考えはあっさりと180度ひっくり返された。この11年の間に関わった人々から受けた様々な影響は、私自身の内面や行動を変えていったと思う。

9年前の今日(3月11日)、東日本大震災が起きた。社会を揺るがす大きな事柄が起きると、社会的弱者が最も大きな影響を受ける。今回の新型コロナウイルスの影響は、外国人でシングルマザーであり、フリーランスで働く友人を直撃している。収束が見えないなか、声なき声を聴く力、伝える力を持ち続けていくにはどうすればいいのかわからない。MAFGAを退職しても、社会の問題からは立ち去れない。社会問題は「他人事」ではなく、「自分事」なのだ、改めて考えさせられている。

「めろん」の編集後記は、私の小さな想いを伝える場を担ってくれた。また本誌を作成していく過程は、社会情勢を考え、自分自身の有り様を考える機会となった。

読者のみなさん、取材に協力してくれた方々、広告団体の方、担当事業などで関わったみなさん、編集ボランティアメンバーに、心から感謝申し上げます。(神谷)

アクセスマップ



バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜)黄ルート「多文化交流センター前」
または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
- (日曜・祝日)緑ルート「小野原西5丁目」から西へ約200m
※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30、51、55、56 58、59、66、79	① 小野原 ② 小野原西
	175、176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70、78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR茨木方面から	92	① 小野原 ② 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】荻野克彦、崔聖子、島田希、井嶋眞佐子、鷲尾則昭、結城なお、平沢清美

【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、神谷敦子、鳥羽山良平、ツェレンダグワ・ムンフバヤスガラン、大橋亜由美

問合せ：(公財)箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

Web サイト : www.mafga.or.jp Facebook : facebook.com/Mafga